

《特集》平成31年度 津別町の予算 84億9,760万円の使い道



平成31年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。
 予算の総額は84億9,760万円、前年度比7.1%の増となりました。また、行政サービスの中心となる一般会計は、60億6,400万円、前年度比9.8%の増です。
 今月の特集では、町の予算内容についてお知らせします。

歳入 歳入の7割あまりを占める依存財源

一般会計予算額を科目別に見たのが下の円グラフで、歳入は左下のグラフ1です。

国から交付される地方交付税が25億円（前年度比1.6%増）で、歳入の41.2%を占めています。これに国・道支出金、地方譲与税などを加えたものが依存財源といわれるもので、歳入全体の71.9%を占めています。

また、町債は一般廃棄物最終処分場整備事業による衛生債の増により、前年度比34.8%の増の8億3,790万円を計上しました。

一方、自主財源のうち町税は町民税の法人税割の増等を見込み、前年度比1.8%増の5億6,375万円を計上。繰入金は一般財源の不足を補うため7億7,908万円を計上しました。

歳出 衛生費は38.1%の編成増額

次に、右下のグラフ2は歳出を科目ごとに表しています。

総務費では、庁舎等建設事業や新規事業の開町100年記念事業経費、移住・起業・空家利活用事業等を含め、前年度比18.5%増の10億9,310万円を計上しました。

億9,310万円を計上しました。

民生費では、障害者総合支援事業経費等の社会福祉費、子ども・子育て支援事業等の児童福祉費に10億5,262万円（前年度比2.4%増）を計上。衛生費では、地域医療維持助成事業、一般廃棄物最終処分場施設整備事業等、前年度比38.1%増の10億3,277万円を計上しました。

農林業費では、国営農地再編整備事業推進事業等の農業費、愛林のまち緑資源を守る推進事業等の林業費に5億4,174万円（前年度比16.0%減）を計上。教育費では、中学校施設整備事業等、前年度比21.3%増の6億9,758万円を計上しました。

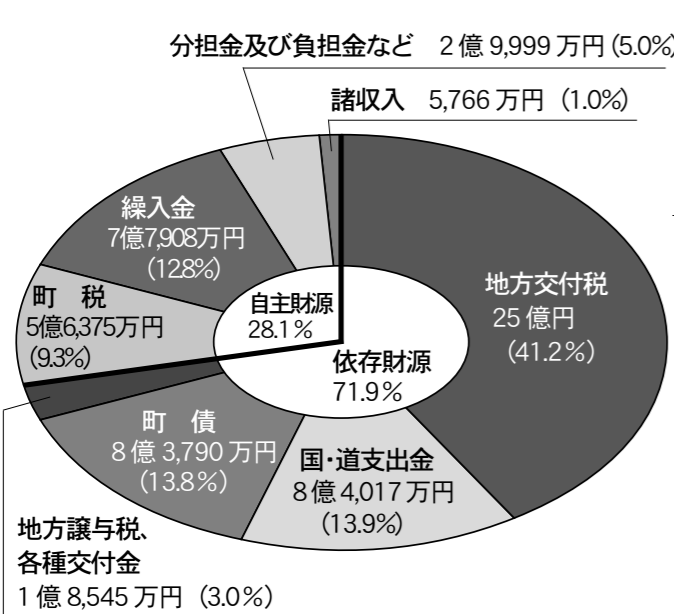
また、歳出の9.3%を占める公債費は、事業を実施するときに借りたお金の償還金です。

下の表2は、今年的一般会計の予算額を町民一人当たりで割り返した金額です。

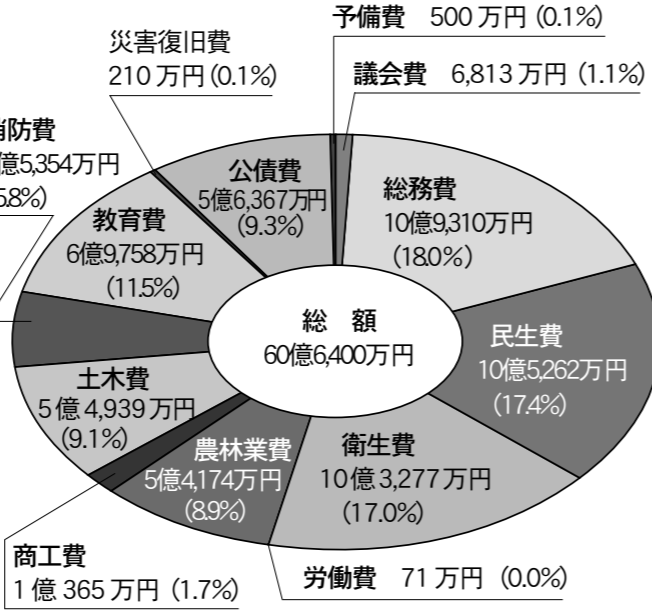
町民4,699人（平成31年2月末現在）の一人当たりの金額は、129万4,877円となり、それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりや皆さんの暮らしに役立てられます。

一般会計予算額の科目別内訳

【グラフ1】歳入



【グラフ2】歳出



【表2】町民1人当たり予算額
(一般会計分)
1,290,487円

※平成31年2月末現在の住民基本台帳人口4,699人で計算しています。

議会費	14,499円	総務費	232,624円	民生費	224,010円	衛生費	219,786円	労働費	151円	農林業費	115,288円	商工費	22,057円
土木費	116,916円	消防費	75,236円	教育費	148,453円	災害復旧費	447円	公債費	119,956円	予備費	1,064円		

【表1】

平成31年度会計別予算額の内訳

会計名	予算額	前年度比
一般会計	60億6,400万円	9.8%増
特別会計		
国民健康保険事業特別会計	8億8,690万円	0.4%減
後期高齢者医療事業特別会計	9,050万円	1.4%減
介護保険事業特別会計	5億7,870万円	2.3%増
下水道事業特別会計	3億9,380万円	7.6%減
簡易水道事業特別会計	4億8,370万円	10.9%増
合計	84億9,760万円	7.1%増

一般会計 前年度比で9.8%増

町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。将来にわたって持続できるまちづくりに向けた施策とともに、緊急性と住民要望の高い事業を選択して予算編成を行い、その結果、本年度の一般会計予算の総額は、表1のとおり前年度比9.8%増の60億6,400万円となりました。

特別会計 特別会計予算は前年規模を上回る

特別会計の増減の主な要因につきましては、後期高齢者医療事業特別会計は後期高齢者医療広域連合納付金の減、介護保険事業特別会計は保険給付費等の増によるものです。下水道事業特別会計は農業集落排水施設閉鎖作業の終了等による減、簡易水道事業特別会計は上里地区導水管更新工事の増によるものです。